

令和 3 年度

長野市各財産区特別会計

決算審査意見書

松代財産区

豊栄財産区

西寺尾本郷財産区

今井財産区

信級財産区

日原財産区

長野市監査委員

4 監査第35号
令和4年8月30日

長野市各財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	近藤満里
同	宮崎治夫

令和3年度長野市各財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度長野市各財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1 審査の対象	1
第 2 審査の期間	1
第 3 審査の方法	1
第 4 審査の結果	1
松代財産区特別会計	2
豊栄財産区特別会計	4
西寺尾本郷財産区特別会計	6
今井財産区特別会計	8
信級財産区特別会計	10
日原財産区特別会計	12
第 5 意 見	14

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和3年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和3年度長野市各財産区特別会計の決算

松代財産区特別会計
豊栄財産区特別会計
西寺尾本郷財産区特別会計
今井財産区特別会計
信級財産区特別会計
日原財産区特別会計

上記各財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書
実質収支に関する調書
財産に関する調書

第2 審査の期間

令和4年6月29日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

松代財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,879,943 円に対する歳出決算額は 889,537 円で、歳入歳出差引残額 990,406 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	888,000	885,733	885,733	0	0	99.7	100.0
繰越金	455,000	994,205	994,205	0	0	218.5	100.0
繰入金	100,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	5	5	0	0	0.3	100.0
合計	1,445,000	1,879,943	1,879,943	0	0	130.1	100.0
2年度	1,260,000	1,749,047	1,749,047	0	0	138.8	100.0
比較増減	185,000	130,896	130,896	0	0	△8.7 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	114.7	107.5	107.5	—	—	—	—

収入済額は 1,879,943 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 994,205 円及び財産収入 885,733 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,415,000	889,537	0	525,463	62.9
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合計	1,445,000	889,537	0	555,463	61.6
2年度	1,260,000	754,842	0	505,158	59.9
比較増減	185,000	134,695	0	50,305	1.7ポイント
前年度対比	114.7	117.8	—	110.0	—

支出済額は 889,537 円で、予算現額に対して 61.6%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	3,411,494	0	3,411,494	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	63,503	608	64,111	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	311,200	0	311,200
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	411,200	0	411,200

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,559,000	0	23,559,000

豊栄財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 258,003 円に対する歳出決算額は 8,600 円で、歳入歳出差引残額 249,403 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	20,000	20,839	20,839	0	0	104.2	100.0
繰越金	207,000	237,162	237,162	0	0	114.6	100.0
分担金及び負担金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	230,000	258,003	258,003	0	0	112.2	100.0
2年度	230,000	251,442	251,442	0	0	109.3	100.0
比較増減	0	6,561	6,561	0	0	2.9 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.0	102.6	102.6	—	—	—	—

収入済額は 258,003 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 237,162 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	180,000	8,600	0	171,400	4.8
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	230,000	8,600	0	221,400	3.7
2年度	230,000	14,280	0	215,720	6.2
比較増減	0	△5,680	0	5,680	△2.5ポイント
前年度対比	100.0	60.2	—	102.6	—

支出済額は 8,600 円で、予算現額に対して 3.7%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	225,771	0	225,771	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	19,426	132	19,558	—	—	—

西寺尾本郷財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 553,188 円に対する歳出決算額は 296,374 円で、歳入歳出差引残額 256,814 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	46,000	45,086	45,086	0	0	98.0	100.0
繰越金	211,000	197,100	197,100	0	0	93.4	100.0
繰入金	311,000	311,000	311,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	570,000	553,188	553,188	0	0	97.1	100.0
2年度	570,000	553,133	553,133	0	0	97.0	100.0
比較増減	0	55	55	0	0	0.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—

収入済額は 553,188 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰入金 311,000 円及び繰越金 197,100 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	540,000	296,374	0	243,626	54.9
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合 計	570,000	296,374	0	273,626	52.0
2年度	570,000	356,033	0	213,967	62.5
比較増減	0	△59,659	0	59,659	△10.5ポイント
前年度対比	100.0	83.2	—	127.9	—

支出済額は 296,374 円で、予算現額に対して 52.0%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地及び建物の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
原野 (畑)	20,132	0	20,132	0	0	0

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	4,657,000	△ 311,000	4,346,000

今井財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 523,083 円に対する歳出決算額は 414,505 円で、歳入歳出差引残額 108,578 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	174,000	173,840	173,840	0	0	99.9	100.0
繰越金	110,000	109,243	109,243	0	0	99.3	100.0
繰入金	390,000	240,000	240,000	0	0	61.5	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合計	676,000	523,083	523,083	0	0	77.4	100.0
2年度	682,000	510,131	510,131	0	0	74.8	100.0
比較増減	△6,000	12,952	12,952	0	0	2.6 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	99.1	102.5	102.5	—	—	—	—

収入済額は 523,083 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰入金 240,000 円及び財産収入 173,840 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	666,000	414,505	0	251,495	62.2
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合計	676,000	414,505	0	261,495	61.3
2年度	682,000	400,888	0	281,112	58.8
比較増減	△6,000	13,617	0	△19,617	2.5ポイント
前年度対比	99.1	103.4	—	93.0	—

支出済額は 414,505 円で、予算現額に対して 61.3%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	730,586	0	730,586	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	15,123	109	15,232	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	27,900	0	27,900

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,700,000	△ 240,000	5,460,000

信級財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 121,783 円に対する歳出決算額は 50,482 円で、歳入歳出差引残額 71,301 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	33	33	0	0	1.1	100.0
繰越金	121,000	121,750	121,750	0	0	100.6	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合計	126,000	121,783	121,783	0	0	96.7	100.0
2年度	176,000	177,714	177,714	0	0	101.0	100.0
比較増減	△50,000	△55,931	△55,931	0	0	△4.3 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	71.6	68.5	68.5	—	—	—	—

収入済額は 121,783 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。
収入済額の主なものは、繰越金 121,750 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	106,000	50,482	0	55,518	47.6
予備費	20,000	0	0	20,000	0.0
合計	126,000	50,482	0	75,518	40.1
2年度	176,000	55,964	0	120,036	31.8
比較増減	△50,000	△5,482	0	△44,518	8.3ポイント
前年度対比	71.6	90.2	—	62.9	—

支出済額は 50,482 円で、予算現額に対して 40.1%の執行率である。
支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	367,950.00	0	367,950.00	0	0	0
原 野	157,940.00	0	157,940.00	0	0	0
保 安 林	41,475.00	0	41,475.00	0	0	0
雑 種 地	297.00	0	297.00	0	0	0
宅 地	39.66	0	39.66	0	0	0
田	36.00	0	36.00	0	0	0
畑	416.00	0	416.00	0	0	0
合 計	568,153.66	0	568,153.66	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	10,596	102	10,698	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	1,650,000	0	1,650,000

日原財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 107,114 円に対する歳出決算額は 28,600 円で、歳入歳出差引残額 78,514 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	16	16	0	0	0.5	100.0
繰越金	105,000	107,098	107,098	0	0	102.0	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合 計	110,000	107,114	107,114	0	0	97.4	100.0
2年度	145,000	140,938	140,938	0	0	97.2	100.0
比較増減	△35,000	△33,824	△33,824	0	0	0.2 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	75.9	76.0	76.0	—	—	—	—

収入済額は 107,114 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 107,098 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	100,000	28,600	0	71,400	28.6
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	110,000	28,600	0	81,400	26.0
2年度	145,000	33,840	0	111,160	23.3
比較増減	△35,000	△5,240	0	△29,760	2.7ポイント
前年度対比	75.9	84.5	—	73.2	—

支出済額は 28,600 円で、予算現額に対して 26.0%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	475,652	0	475,652	0	0	0
原 野	33,759	0	33,759	0	0	0
保 安 林	21,844	0	21,844	0	0	0
雑 種 地	224	0	224	0	0	0
畑	228	0	228	0	0	0
合 計	531,707	0	531,707	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	12,679	135	12,814	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	800,000	0	800,000

第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

令和 3 年度

長野市東条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

4 監査第36号
令和4年8月30日

長野市東条財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	近藤満里
同	宮崎治夫

令和3年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度長野市東条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和3年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和3年度長野市東条財産区特別会計決算

東条財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第2 審査の期間

令和4年6月29日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 676,386 円に対する歳出決算額は 355,948 円で、歳入歳出差引残額 320,438 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	341	341	0	0	11.4	100.0
繰越金	511,000	502,041	502,041	0	0	98.2	100.0
繰入金	174,000	174,000	174,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
合 計	690,000	676,386	676,386	0	0	98.0	100.0
2年度	840,000	848,630	848,630	0	0	101.0	100.0
比較増減	△150,000	△172,244	△172,244	0	0	△3.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	82.1	79.7	79.7	—	—	—	—

収入済額は 676,386 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 502,041 円及び繰入金 174,000 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	92,000	72,000	0	20,000	78.3
総務費	588,000	283,948	0	304,052	48.3
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	690,000	355,948	0	334,052	51.6
2年度	840,000	346,589	0	493,411	41.3
比較増減	△150,000	9,359	0	△159,359	10.3ポイント
前年度対比	82.1	102.7	—	67.7	—

支出済額は 355,948 円で、予算現額に対して 51.6%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 283,948 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	16,179	86,777	102,956	0	0	0
宅 地	940	0	940	0	0	0
原 野	186,111	△ 86,777	99,334	0	0	0
そ の 他	8,060	0	8,060	0	0	0
合 計	211,290	0	211,290	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	5,419	5	5,424	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	10,500	0	10,500

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	17,357,742	△ 174,000	17,183,742

第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

令和 3 年度

長野市西条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

4 監査第37号
令和4年8月30日

長野市西条財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	近藤満里
同	宮崎治夫

令和3年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度長野市西条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和3年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和3年度長野市西条財産区特別会計決算

西条財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第2 審査の期間

令和4年6月29日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,498,185 円に対する歳出決算額は 850,165 円で、歳入歳出差引残額 648,020 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	103,000	191,501	191,501	0	0	185.9	100.0
繰越金	503,000	531,233	531,233	0	0	105.6	100.0
繰入金	686,000	686,000	686,000	0	0	100.0	100.0
分担金及び負担金	46,000	89,445	89,445	0	0	194.4	100.0
諸収入	2,000	6	6	0	0	0.3	100.0
合 計	1,340,000	1,498,185	1,498,185	0	0	111.8	100.0
2年度	1,246,000	1,202,830	1,202,830	0	0	96.5	100.0
比較増減	94,000	295,355	295,355	0	0	15.3 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	107.5	124.6	124.6	—	—	—	—

収入済額は 1,498,185 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰入金 686,000 円及び繰越金 531,233 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	348,000	337,800	0	10,200	97.1
総務費	590,000	452,346	0	137,654	76.7
林業費	317,000	60,019	0	256,981	18.9
林道費	50,000	0	0	50,000	0.0
予備費	35,000	0	0	35,000	0.0
合 計	1,340,000	850,165	0	489,835	63.4
2年度	1,246,000	671,597	0	574,403	53.9
比較増減	94,000	178,568	0	△84,568	9.5ポイント
前年度対比	107.5	126.6	—	85.3	—

支出済額は 850,165 円で、予算現額に対して 63.4%の執行率である。
支出済額の主なものは、総務費 452,346 円及び議会費 337,800 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	576,525	0	576,525	0	0	0
原 野	594,338	0	594,338	0	0	0
事 務 所	528	0	528	447	0	447
合 計	1,171,391	0	1,171,391	447	0	447
立木 (m ³) (推定蓄積量)	84,639.73	△ 929.40	83,710.33	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	733,000	0	733,000
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	833,000	0	833,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,047,913	△ 686,071	22,361,842

第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

令和 3 年度

長野市大岡中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

4 監査第38号
令和4年8月30日

長野市大岡中牧財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	近藤満里
同	宮崎治夫

令和3年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和3年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和3年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算

大岡中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第2 審査の期間

令和4年6月29日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 6,219,027 円に対する歳出決算額は 6,063,851 円で、歳入歳出差引残額 155,176 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	5,290,000	5,291,381	5,291,381	0	0	100.0	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	920,000	927,625	927,625	0	0	100.8	100.0
諸収入	2,000	21	21	0	0	1.1	100.0
合 計	6,213,000	6,219,027	6,219,027	0	0	100.1	100.0
2年度	6,561,000	6,676,509	6,676,509	0	0	101.8	100.0
比較増減	△348,000	△457,482	△457,482	0	0	△1.7 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	94.7	93.1	93.1	—	—	—	—

収入済額は 6,219,027 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、財産収入 5,291,381 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	197,000	166,800	0	30,200	84.7
総務費	5,966,000	5,897,051	0	68,949	98.8
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	6,213,000	6,063,851	0	149,149	97.6
2年度	6,561,000	5,748,884	0	812,116	87.6
比較増減	△348,000	314,967	0	△662,967	10.0ポイント
前年度対比	94.7	105.5	—	18.4	—

支出済額は 6,063,851 円で、予算現額に対して 97.6%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 5,897,051 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	59,179	505	59,684	—	—	—

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	176,000	0	176,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	22,934,216	897,029	23,831,245
有 価 証 券	10,000,000	0	10,000,000
合 計	32,934,216	897,029	33,831,245

(3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	△ 151,102	0

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

第5 意 見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

基金現在高が多額となっており、財産区住民の福祉の増進のために計画的に活用
されたい。

なお、土地貸付収入の一部について、地方自治法第 296 条の 5 第 2 項の規定に基
づき、長野市の事業に充てることも検討されたい。

令和3年度

長野市信州新町中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

4 監査第39号
令和4年8月30日

長野市信州新町中牧財産区
長野市長 荻原健司様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	近藤満里
同	宮崎治夫

令和3年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和3年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和3年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算

信州新町中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第2 審査の期間

令和4年6月29日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 3,080,590 円に対する歳出決算額は 2,549,786 円で、歳入歳出差引残額 530,804 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,868,000	1,867,936	1,867,936	0	0	100.0	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	1,160,000	1,212,634	1,212,634	0	0	104.5	100.0
諸収入	2,000	20	20	0	0	1.0	100.0
合 計	3,031,000	3,080,590	3,080,590	0	0	101.6	100.0
2年度	2,775,000	2,627,145	2,627,145	0	0	94.7	100.0
比較増減	256,000	453,445	453,445	0	0	6.9 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	109.2	117.3	117.3	—	—	—	—

収入済額は 3,080,590 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、財産収入 1,867,936 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議 会 費	297,000	169,520	0	127,480	57.1
総 務 費	2,534,000	2,380,266	0	153,734	93.9
予 備 費	200,000	0	0	200,000	0.0
合 計	3,031,000	2,549,786	0	481,214	84.1
2年度	2,775,000	1,414,511	0	1,360,489	51.0
比較増減	256,000	1,135,275	0	△879,275	33.1ポイント
前年度対比	109.2	180.3	—	35.4	—

支出済額は 2,549,786 円で、予算現額に対して 84.1%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 2,380,266 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m ³) (推定蓄積量)	59,179	505	59,684	—	—	—

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	62,800	0	62,800

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,668,000	1,300,000	6,968,000

(3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	△ 151,102	0

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

